



金属と資源で「日本・中国・世界」の
ビジネス交流を活性化する
「マグネシウム・精錬材」の専門商社

グリーンマグネシウム、
始めます。

JMC
Together Towards Tomorrow!
From Japan to the World!

日本マテリアル株式会社

世界シェアNo.1 RSM日本代理店

当社の会社紹介

- 本社所在地：
〒532-0011
大阪府大阪市淀川区西中島7丁目1番26号
- 事業概要：
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業(53)
及び非鉄金属製造業(23)
- 常時使用する従業員数：
38名（2025年01月期）
- 現在の売上高：
66.64億円（2025年01月期）
- 法人番号：5120001059507
- Web：https://www.jmcstu.com

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
岩見 暁

我が国産業への精錬材とマグネシムの安定供給の実現

当社には、鉄鋼用精錬材、炭材等の輸入販売をやるFlux（精錬材の意味）グループと、マグネシウム原料の輸入販売・国内リサイクルをやるマググループがあります。
鉄鋼や自動車部品等、我が国の基幹産業への原材料と提供しております。
現在、国際情勢が緊張しており、我々が取り扱っている商品群の中にも、供給が難しくなりそうなものが出て来ました。我々はお客様への安定供給と言う社会的使命を果たす為、以下の二方向の戦略に取り組んでおります。

売上高100億円実現の目標と課題



当社は『100億円企業への成長』を通じ、社会的使命を果たすべく、鋭意努力中であり。建設中の新工場は環境、自動化、安全管理に留意した日本初の近代的リサイクル工場になる予定です。地域の環境、経済との共生を志向しております。

課題

- 1) 輸入販売では取引先相手国の多角化
従来の中国以外に、モンゴル、インド、東南アジア、トルコ等に取引相手国を広げつつあります。
- 2) マグネシウム国内工場の多様化
現在、建設中のリサイクル工場（岡山、岐阜）はグリーンマグネシウム（CO2発生量、中国新塊比1~2%）供給基地になります。
その後は、中国の戦略物資に指定されそうな金属粉末、チップ等の生産工場、蒸留分別新工場（汚れたスクラップリサイクル）更に、新還元法開発による純マグ生産工場を志向して行きます。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- マグネシウム原料輸出版売
 - グリーンマグネシウム、インゴット・チップ
 - 脱硫用マグネシウム
- 日本国内マグネシウム汎用化
 - マグネシウム汎用化懇談会立ち上げ（2025年5月）
 - 建築材料、パレット等、マグネシウム製品商品化
 - マグネシウム製品輸入販売
- 高級炭材（電池用等）取引先多様化
 - アフリカーインド（ヨーロッパ技術）取引開始（2025年6月）

実施体制

当社は2024年に創立40周年を迎え、社長の岩見暁は現在72歳である。現在業務の継続/発展のため、副社長の森田章敬を中心とする次期体制を構築中。幹部社員（営業、製造、研究開発）は40代、30代中心に育ちつつある。更に体制強化の為、新規要員募集や社員教育を進めている。本プロジェクトは岩見、森田、李（現取締役）が構想立案、実施体制を指導し、森田が具体的行動の先頭に立ち、社員を引っ張っていくと言う日本マテリアル全社員一丸となったプロジェクトである。金融機関等の連携体制も確立しており、100億の目標は2028年1月には達成可能と自負している。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現に向けた具体的措置

中国貿易専門商社の枠を出
貿易の多角化、マグネシウム工場の多様化を実現し、売上100億を目指す。

「100億企業への成長」

ビジョン

- 取引先相手国の多角化**
原料輸入販売 —— ヨーロッパ系技術商品開発
マグネシウムの輸出強化 —— 従来の東南アジアに加え、アメリカ、ヨーロッパ市場進出
- 工場建設、社員教育、技術開発**
安全操業の達成、環境負荷低減、労働負荷低減
新技術開発（蒸留・還元）
- 人材確保**
生産、製造技術員、管理部DX化

課題

- 自社工場を現代的マグネシウム原料供給基地に
- リサイクル調達原料多様化 —— 脱中国の流れ
日本国内市中スクラップ原料化 / 東南アジア原料開発
- 技術開発 —— 新設備建設
金属加工工場建設 / 蒸留分別機着手 / 新型還元機研究
- 人材養成 —— 確保
技術者養成、新規人員募集

実現目標

